

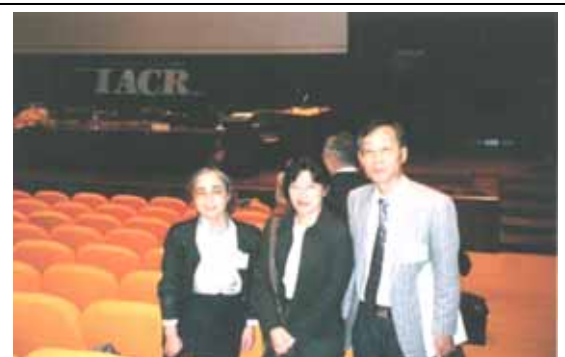


IACR アビジャン（象牙海岸）の懇親会で（97.11.5）



IACR リスボン大会へ向かう途中、セビアのグワダルキビール川河岸のレストラン、向かいには黄金の塔（99.9.26）

こんなに早くお別れが来ようとは…。先生とは何となく気が合っていました。疫学と地域がん登録を行う Ph.D という点、日本酒が好きだという点、互いの地域がん登録が東京医療圏に影響されているという点、などなど。といっても、村田先生は表面には出されませんでした。が“粋（いき）な方”でした。謡（うたい）のお師匠さんでありながら、ケーキ作りが趣味、牡蠣には目が無い、絵画に造詣が深い（なかでもゴッホの熱烈なファン）、「何でも見てやろう」的精神の持ち主。そのためでしょうか、1997年3月に奥様を亡くされて落胆されておられるとき、アフリカのコートディボール（象牙海岸）での IACR の学会へお誘いしましたら、即、参加のお返事でした。アムステルダム経由でしたので、トランジットの間に市内やブリュッセルを二人旅の珍道中を楽しみました。その後、毎年のように IACR の Annual Meeting に一緒させていただきました。お気に入り、松田先生（山形）、味木先生（現、国がん）、私とでスペイン（マドリッド、セビア、コルドバ、グラナダ）からポルトガル（リスボン）へ向かった4人旅でした。地中海気候の明るさと同じ、お元気な頃の先生が偲ばれます。飾り気の無い、忌憚りの無い、直接的な話法でしたが、それでいて暖かさやユーモアと安心を感じさせてくれる先生でした。昨年の3月ごろは9月にウガンダ（エンテベ）で開催される第27回 IACR に参加を希望されていましたが、6月頃に病に伏せられ、望みはかなえられませんでした。本年のブラジル大会、来年のスロベニア大会も楽しみ



IACR リスボン大会の会場で（99.9.29）

にされていましたが、“先生の思い”は命とともに消えてしまったのでしょうか。永久（とわ）の別離（わかれ）というのは、辛く、淋しい結末を残された人々に置いてゆくものですね。2006/06/27 合掌。

### 第15回地域がん登録全国協議会総会研究会ならびに実務者研修会のご案内

松田 徹

山形県立がん・生活習慣病センター

第15回地域がん登録全国協議会を2006年9月1日（金）、山形県庁二階講堂にて開催いたします。今回の総会研究会では「がん対策におけるがん登録の役割」を主題として、がん対策において精度の高いがん登録が不可欠であることを、実際ががん対策に用いられた例を通してご紹介する内容となっております。また、総会研究会初の試みとして、地域がん登録事業の意義を市民の皆様へ周知する目的で市民公開講座を開催いたします。なお、前日

8月31日(木)には実務者研修会を開催する予定です。去年に引き続き、第3次対がん総合戦略祖父江班での地域がん登録の標準化に関する取り組みを地域がん登録に関係する方々に紹介することを中心にプログラムを組みました。両日とも多数のご参加をお願い致したく、ご案内申し上げます。

9月1日(金) 総会研究会

参加費：3,000円

900 受付開始

900-1000 ポスターセッティング

1000-1020 会長挨拶祝辞

1020-1200 シンポジウム

「がん対策における地域がん登録の役割」

座長：津熊 秀明(大阪府立成人病センター)

西 信雄(財団法人放射線影響研究所)

基調講演

「がん対策における地域がん登録の意義・役割」

松田 徹(山形県立がん・生活習慣病センター)

1. 疫学研究への利用と成果の還元

西野 善一(宮城県立がんセンター)

2. 拠点病院を中心とするがん医療体制の企画

森脇 俊(大阪府健康福祉部)

3. 地理情報と地域がん登録資料を用いた

がん罹患モニタリングの現状

三上 春夫(千葉県立がんセンター)

4. がん検診の精度管理

笠井 英夫(岡山県医師会)

1200-1230 総会

1230-1330 昼休み

1330-1420 特別講演

「国家戦略としてのがん対策とがん登録の役割」

祖父江 友孝(国立がんセンター)

座長：児玉 和紀(財団法人放射線影響研究所)

1420-1500 ポスター見学(山形県庁二階講堂内)

1500-1700 市民公開講座

「がん医療は進んでいるのか」

がん対策におけるがん登録の役割」

座長：岡本 直幸(神奈川県立がんセンター)

早田 みどり(財団法人放射線影響研究所)

1. がん登録とは

味木 和喜子(国立がんセンター)

2. がん医療と情報

西本 寛(国立がんセンター)

3. がん登録の利用 - 胃癌予防の可能性 -

間部 克裕(山形県立中央病院)

4. がん登録から見たがん対策の課題

大島 明(大阪府立成人病センター)

1700 閉会挨拶

1700-1715 ポスター撤去

1730-2000 懇親会(ポスター表彰)

会場：あこや会館(山形県庁北側徒歩5分)

懇親会費：4,000円

8月31日(木) がん登録実務者研修会

参加費：1,000円

1400 受付開始

司会 柴田 亜希子(山形県立がん・生活習慣病センター)

1430-1500 祖父江班による地域がん登録実務に関わる

標準化の取り組みと進捗状況

柴田 亜希子(山形県立がん・生活習慣病センター)

1500-1530 ICD-O-3の利用の実際：コード化と

変換について

松尾 恵太郎(愛知県立がんセンター研究所)

1530-1550 休憩

1550-1620 死亡票から登録・集計する腫瘍の標準化に

ついて

井岡 亜希子(大阪府立成人病センター)

1620-1650 地域がん登録標準データベースシステムに

おけるロジカルチェックについて

堂道 直美(財団法人放射線影響研究所)

1650-1710 質疑応答

関連企画

地域がん登録標準データベースシステム見学会

日時：9月2日(土) 900-1400

場所：山形県立がん・生活習慣病センター 登録室

第15回地域がん登録全国協議会総会研究会

大会会長：松田 徹

事務局：山形県立がん・生活習慣病センターがん対策部

〒990-2292 山形市大字青柳 1800

Tel: 023-685-2752 Fax: 023-685-2605

Mail: gancenter2@ypch.gr.jp